

皆さん、こんにちは。
今年もよろしくお願い申し上げます。
厳しい寒さが続きますが、いかがお過ごしでしょうか。
工業用水道に関わる情報をお届けいたします。
また、福島県のイベント等についてもお届けしますので、
併せてよろしくお願いします！

【今回のトピック】

- 1 企業局長 年頭の御挨拶
- 2 令和6年度福島県工業用水道事業会計の決算と取組実績について
- 3 企業立地セミナーに出展しました！
- 4 工業用水道放射性物質モニタリング結果
- 5 ダムの貯水状況
- 6 工業用水って何？ その10
- 7 福島県からのお知らせ

◆-----◆ 1 企業局長 年頭の御挨拶

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
昨年は、料金改定を始め工業用水道事業への御理解と御協力を賜り、心から御礼申し上げます。
今年は、引き続き安定的な工業用水の供給を図るため、令和10年の完成を目指す勿来工業用水道沼部堰改築事業などの老朽化・強靱化対策を着実に進めるとともに、適切な施設の維持管理を実施してまいります。
また、皆様とのコミュニケーションを更に深めるため、新たに予算や決算など経営状況について御説明する場を設けるなど、持続可能な工業用水道事業の運営に向けて、職員一丸となって取り組んでまいります。
結びに、皆様のますますの御発展と御健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和8年1月 企業局長 阿部 俊彦

◆-----◆ 2 令和6年度福島県工業用水道事業会計の決算と取組実績について

令和7年12月県議会において、令和6年度福島県工業用水道事業会計の決算が認定されました。事業収益 27 億 5,459 万円に対して、事業費用 26 億 5,405 万円で、純利益は 1 億 54 万円となりました。
今後も安全で安定した工業用水の持続可能な供給を図り、地域経済を支えてまいりますので、よろしくお願いいたします。

3 企業立地セミナーに参加しました！

1月20日（火）に東京都の大手町プレイスホール&カンファレンスにて開催された「福島イノベーション・コースト構想企業立地セミナー」に出展しました。

福島県浜通り地域への企業立地を検討されている企業の皆様へ、工業用水の利用を検討していただくため、情報提供を行いました。

磐城工業用水道のご案内

昭和37年から供給を開始し、令和7年12月現在、43事業所に181,796㎡/日を給水しています。



工業用水の用途

製造業をはじめ、電気供給業、ガス供給業、熱供給業等において、冷却や洗浄、原材料等様々な用途にご利用いただける水です。

また、洗車や水洗トイレや散水（公園、粉塵防止等）などの**雑用水**としても利用が可能です。



工業用水の料金

工業用水は、浄水処理が簡易なため料金が比較的安価です。

（例）当県の最低使用水量600㎡/日の水を1年間利用した場合

上水道	工業用水道	差額	減少率
約3,650万円	約450万円	約3,200万円	88%

（A）上水道の料金は、国土交通省「水道カルテ」を基に算出します。全国平均で約186.6円/㎡となっています。
 $186.6 \text{ 円/㎡} \times 600 \text{ ㎡/日} \times 365 \text{ 日} = \text{約3,650万円}$

（B）福島県工業用水道料金の単価は20.4円/㎡です。（令和8～9年度）
 $20.4 \text{ 円/㎡} \times 600 \text{ ㎡/日} \times 365 \text{ 日} = \text{約450万円}$

※使用水量等が利用状況によって異なるため、正確な額はあくまでも目安です。

工業用水の使用をぜひご検討ください。

当日チラシ



当日写真（企業局職員撮影）

4 工業用水放射性物質モニタリング結果

各工業用水の直近の結果について公表します。

- 放射性ヨウ素 I 131、放射性セシウム Cs134、放射性セシウム Cs137
いずれも検出限界値未満（令和8年1月21日採水分）
※平成23年11月以降は各工業用水で検出限界値未満が継続しています。
- 小名浜工業用水道の海水中トリチウム
検出限界値未満（令和7年11月19日採水分）
※令和7年度におけるトリチウムのモニタリングは、東京電力によるALPS処理水の海洋放出方法に変更が無い限り、5月、8月、11月、2月に実施します。

なお、これまでの結果は以下のリンク先を御覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/monitoring.html>

5 ダムの貯水状況

工業用水道の水源となっているダムの貯水状況についてお知らせします。
（令和8年1月30日現在）

- 磐城工業用水道 高柴ダム

貯水率 100.0%

貯水位 標高 52.51m

- 相馬工業用水道 真野ダム

貯水率 65.1%

貯水位 標高 168.44m

10月から6月までは、雨が少ない時期における貯水率でお知らせします。

この時期の真野ダムの貯水率は、70%前後が例年の傾向です。現在65%程度ですが、現時点で当面の給水に支障はない見込みです。

今後も貯水状況を注視しながら情報を発信してまいります。

貯水位は、以下のリンク先でも確認することが出来ます。

https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/dam/010401_60_1_0.html

※貯水率は、目安としてお示ししています。ダムの貯水位は、治水上の観点から、時期、気象状況により調整する場合がありますので、御注意下さい。

6 工業用水って何？ その10

福島県企業局で運営している各工業用水について、皆様により知っていただくために、しくみや施設などについて、ご紹介していきます。

今回は、「隧道」についてご紹介します。

- 「隧道」（ずいどう）とは、「トンネル」の日本語表記です。常用漢字外であるため、昭和 40 年代以降からは「トンネル」という表記が一般的になっています。
- 福島県企業局では、工業用水道の供給のために9本（総延長10.4km）の隧道（トンネル）を使用しています

（単位：m）

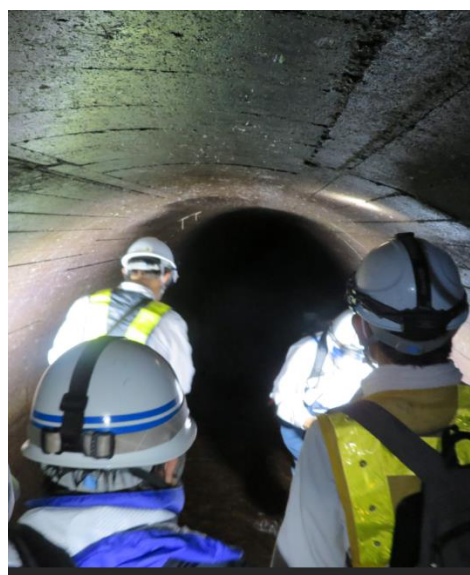
工業用水道名	名称	種別	延長	幅	高さ	形状
磐城工業用水道	鮫川隧道	導水路	356.4	1.9	1.9	馬蹄形
	第1隧道	導水路	1,140.0	1.9	1.9	馬蹄形
	第2隧道	導水路	912.0	1.9	1.9	馬蹄形
	第3隧道	導水路	237.0	1.9	1.9	馬蹄形
	第4隧道	導水路	1,669.0	1.9	1.9	馬蹄形
	第5隧道（Ⅰ期）	配水路	265.0	1.9	1.9	馬蹄形 隧道内配管φ1.1铸铁管
	第5隧道（Ⅱ期）	配水路	277.0	1.9	1.9	馬蹄形 隧道内配管φ1.1鋼管
勿来工業用水道	勿来隧道	配水路	1,107.3	2.1	2.1	馬蹄形
相馬工業用水道	導水トンネル	導水路	4,458.6	1.7	1.9	馬蹄形
隧道総延長			10,422.3 m			

福島県企業局の隧道

- 隧道は、山地を貫いて水を送る重要な施設ですが、普段は直接目視できないため、定期断水日に点検を行っています。



鮫川隧道（昭和 38 年完成時）



定期断水日の点検

次回は、「弁類」についてご紹介します。

福島県企業局

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16

電話 024-521-7572（代表）

mail kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp

企業局いわき事業所

〒971-8185 福島県いわき市泉町字小山 310

電話 0246-56-5821（代表）

※ 配信先変更及び配信停止は、上記アドレスから御連絡願います。